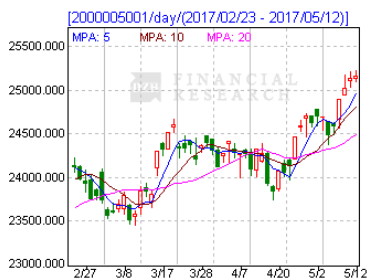




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	20,896.61	-22.81	-0.11	-0.53	5.74	19,762.60
NASDAQ	6,121.23	5.27	0.09	0.34	13.71	5,383.12
日経225	19,883.90	-77.65	-0.39	2.25	4.03	19,114.37
上海総合	3,083.51	22.01	0.72	-0.63	-0.65	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,385.38	28.73	0.86	0.08	2.27	3,310.08
ハンセン	25,156.34	30.79	0.12	2.78	14.34	22,000.56
H株	10,282.65	25.02	0.24	3.59	9.45	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.8%高と反発、上海総合指数は0.6%安と5週続落

香港市場ではハンセン指数が週間で2.8%高と反発した。8日から12日まで5日続伸と週を通じて堅調に推移。仏大統領選で親EUを掲げるマクロン氏が勝利したことを受け、政治リスクなどへの警戒感が後退し、投資家の買い意欲が継続した。10日には約1年10カ月ぶりに節目の25000ポイント台に乗せた。本土市場では上海総合指数が週間で0.6%安と5週続落。後半にやや持ち直したものの、総じて軟調な展開が続いた。金融当局による引き締め動きが警戒されたほか、貿易統計が市場予想を下回ったことが嫌気された。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、足元の上昇を受けて利益確定売りも

香港市場は上値の重い展開か。仏大統領選後、世界的にリスクオン姿勢が強まっているが、ハンセン指数はすでに約1年10カ月ぶり高値圏にあり、利益確定売りが出やすい状況。北朝鮮をめぐる地政学リスクが再び高まっていることに加え、香港金融当局が不動産向け融資の規制導入を発表したことも重しとなりそう。決算発表では17日に予定しているテンセントの1-3月期決算が注目材料。本土市場は底堅い展開か。金融当局による引き締め動きが引き続き懸念材料だが、底割れの可能性は低いと思われる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	11.12	8.38
2 中国平安保険(02318)	46.05	7.22
3 中国人寿保険(02628)	24.55	7.21
4 テンセント(00700)	258.20	5.91
5 華潤電力控股(00836)	14.44	5.40
6 長江和記実業(00001)	101.60	4.63
7 Link REIT(00823)	58.10	4.31
8 新世界発展(00017)	9.83	4.02
9 シンペック(00386)	6.25	3.82
10 チャイ・ユニコム(00762)	10.40	3.59

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技(02018)	96.00	-10.36
2 キャセイ・パシフィック(00293)	10.90	-2.15
3 サンス・チャイ(01928)	34.50	-0.86
4 恒隆地産(00101)	19.12	-0.52
5 新鴻基地産(00016)	116.00	-0.51
6		
7		
8		
9		
10		

▼今週の主なイベント

- 5月18日(木)
 - 【中国】70都市不動産価格(4月)
 - 5月19日(金)
 - 【香港】失業率(2-4月)
 - 【香港】ハンセン指数定期入れ替え発表

▼今週の期待材料

- ◆香港の1-3月期のGDP成長率は4.3%と約6年ぶり高水準、前期比では0.7%と堅調
- ◆中国人民銀行が12日に中期貸出制度を通じて4590億元の資金供給を実施、資金ひっ迫懸念が後退
- ◆中国の4月の融資残増加額は市場予想を上回る1兆1000億元、4月の社会融資総量も市場予想上回る

▼今週の懸念材料

- ◆北朝鮮が14日に再び弾道ミサイルを発射、朝鮮半島情勢を巡る地政学リスクが相場の重しとなる算
- ◆香港金融当局が不動産向け融資の引き締め策を導入、土地取得の融資は最大4割、建築費は最大8割に制限
- ◆鉱工業生産や小売売上高など中国の4月の経済指標が軒並み市場予想下回る、景気減速懸念が高まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ ジョンソン・エレクトリック (00179) : 17日に期末決算発表、市場予想は29%増益
- ☆ 裕元工業 (00551) : 1-3月期決算は市場予想上回る31%増益、コア利益も30%増
- ☆ 中国東方航空 (00670) : 4月の旅客数は7%増の892万2500人、貨物輸送量は3%増
- ☆ テンセント (00700) : 17日に1-3月期決算を発表、市場予想は45%増益
- ☆ 華潤セメント (01313) : 6月中間決算はセメント販売価格上昇で大幅増益の見通し
- ☆ 中国平安保険 (02318) : 1-4月の保険料収入は35%増加と好調、4月は30%増
- ◇ 瑞声科技 (02018) : 空売り業者のレポートに改めて「根拠なし」と反論
- ★ 山東墨龍石油機械 (00568) : 証券法や関連規定の違反で当局が処罰決定の方針を発表
- ★ 深セン控股 (00604) : 4月の不動産販売額は76%の大幅減、販売面積は46%減
- ★ 新華人寿保険 (01336) : 1-4月の保険料収入は20%減と苦戦、4月は17%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。